

東大雪 VR ビデオ

東大雪スカイウォーク

1.起伏に富んだ山頂、深い森、そして美しい湖が、大雪山国立公園の南東部の東大雪を構成します。

2.大雪山国立公園は、環太平洋火山帯の千島弧に位置しています。大雪山の山の多くは、火山活動により形成されたものですが、石狩山脈は、地殻プレートの衝突と断層線沿いの岩の露出によって形成されました。

3.石狩山は、石狩山脈で標高が最も高い山です。全長 268 キロに及ぶ石狩川の源流がここにあります。北海道最長の川で、日本でも 3 番目に長い川です。

4.標高 2,013 メートルのニペソツ山は、東大雪最高峰の山で、急峻な山容を誇ります。山頂まで 7 時間もの道のりを歩けば、石狩山脈と十勝山脈の全景を見渡すことができます。

5.丸山は、東大雪で唯一の活火山ですが、最後の噴火は 1898 年 12 月でした。噴気孔やドーム型の石灰質の噴泉塔が山腹に転々と見られます。

6.ウペペサンケ山の稜線は、ハイキングをする人には実に魅力的な様相を帯びています。山の名前は、アイヌ語で「雪解け水を出してくる」という意味です。標高 1,848 メートルの山頂からは、然別湖と糠平湖を何にも遮られることなく眺めることができます。

7.西クマネシリ岳およびピリバツ岳は、遠くから眺めるとほとんど同じに見えます。アイヌ民族の人々は、この双子のような山を、「神々の国土造りの舞台になった場所」と呼んでいます。

8.広大な十勝三股カルデラは、約 100 万年以上前に起きた噴火の際に形成されました。面積 140 平方キロメートルの広く浅い火口で、深い針葉樹林に覆われています。

9.トドマツとエゾマツも、この自然環境保全地域の肥沃な火山性の土壌に育つ銘木です。キンメフクロウやミユビゲラといった珍しい動物もまた、この森を住処としています。

10.東大雪には、この地域の固有種を含め、実に多様な野生生物が棲んでいます。

11. 然別湖は標高 800 メートルの場所にあり、北海道で最も高い標高に位置しています。オショロコマの亜種であるミヤバイワナの唯一の生息地となっています。湖岸に並ぶ温泉宿では宿泊も可能です。

12. 然別湖の近くには、他にも然別湖より小さい東雲湖と駒止湖の 2 つの湖があります。駒止湖は、大昔の爆裂火口により形成されました。

13. 然別湖は、カヌーや SUP（スタンドアップパドルボード）から野鳥観察やハイキングまで、幅広いアウトドアアクティビティを楽しむのに理想の起点となっています。冬には、穴釣りやスノーシュートレッキングを楽しむこともできます。

14. 人造湖である糠平湖は、比較的最近登場した景色です。1956 年糠平ダムが建造された際、北海道東部へ水力発電力を供給するために建設されました。

15. 東大雪は、そびえたつ火山、穏やかな湖と湿原、動植物がたくさん棲む森林、そしてスリル満点のアウトドアアドベンチャーなど、自然の美の宝庫です。ここでは、東大雪の驚異と楽しみが待ち受けています。